

尺八獨藝古全

特60

630

尺八獨藝古序

音曲おんきょくの種類甚だ多しと雖とも類る高う

尚なほも音器ハ此尺八もなり



和漢共ニ風流ふうりゅうの韻事うんじ此右に出る者あり

然る故高尚こうこうの擬言ぎげんふ迄もなまこと

とぞ一ひと世よに位くらゐ高たかき人皆此擬ぎを

好このみつるの否々端歌たんかあるわが味を

知るさへむつりさ此は幸ひ余の友

⁶⁰特とく人ひと此道このみちにく世上よこふ其名なを轟とどろく

故人こじん快道くわいどう流ながれ譜音ふおんを以て現今流行

する唱歌うたが端歌たんか長歌なが大津おほつ曲節まがふし等を

編あり此笛このふえの六音むつおん六調むつてうに合あひ古樂こがくに

合あはさるも此書このしよ妙たぎ獨習どくじゆ得えバ此道このみちと志

る事明ことあきらなり現今尺八このとき流行ながれ順したがひ

他は類しづる書ありて雖も著者
已と意を得て初心純人は不明良の
書而已依る余が友人菊水居士が世
に持ゆる譜音と此編初心の人
れ手引として則ち尺八獨執古となる
べし書と編輯し席上幽静の風韻を
益々社會に普及らしめんとなす余共
意中を大に賛く之以て序を為
す

明治癸巳春

石腹居士識

曲列目次

君が代・奈様・十日恵養・梅が枝

琉球節・琉球・高い山・宇治

権兵衛種詩・其・節・松盡・大津画

夕ぐれ・春雨・芦刈・京四季

詠歌・高砂・御所車・萬歳

尺八穴ノ名

フ五皆フサイタヲフト云フ

ホ五一ヲ明ケ外フサイタヲホト云フ

ウ五一ニヲ明ケ外フサイタヲウト云フ

土五一二三ヲ明ケ外フサイタヲエト云フ

ヤ五三四ヲ明ケ外フサイタヲヤト云フ

イ五一三四五ヲ明ケ外フサイタヲイ

○

ヒ ○ ● ● ● ● 四五ヲ明ケ外フサイタラヒト云フ
 タ ○ ● ● ● ● 二四五ヲ明ケ外フサイタラタト云フ
 ラ ○ ○ ○ ● ● 二三四ヲ明ケ外フサイタラト云フ
 ル ● ○ ● ● ○ 一三ヲ明ケ外フサイタラルト云フ
 レ ● ● ● ● ○ ● ○ 一ニヲ半明ケ外フサイタラレト云フ
 ロ ● ● ● ● ○ ● ○ 一五ヲ明ケ外フサイタラロト云フ

一此ヲホウエヤイロタルレロの穴の名をよく心得

左側ふあろを裏穴とき

一ヲホウエヤイ此の六音ハ甲乙二音に吹き分け
ヒタラレロの六音ハ口傳あり

一此あろと附ろハフーと長く引く者あり
一フ、ことあらハフフフとろろあり

一左側に●印を附たらハこ音なり

一彌老回尺ハ心指す人ハは藩とんゆヲルガレ
ビワ童ベ分のオタケサン笛を吹て心ん給
へは藩に滴をろろのりとりる雨りては去の位と
知ろぬき音地よ聲りみ虫と競へられては指物長
の良先生なるを毛殿と垂られんろろと行る

兼有居士云

三味線ト合ス調子

ノ事

本てらうー

一フ	一フ	一フ
ニ上リ	ニウ	ニウ
一ヤ	ニウ	ニウ
三下リ	ニウ	ニウ
一フ	ニウ	ニウ
	三ヤ	三ヤ

君が代

君が代

七寸 風琴ビノ調

君が代
千代な

フヤフホ
ウホフ
ホウエエ

さざれ石の
岩ほと

ヒヤエエ
ホウエエ
ヒヤヒ

こけの
むき

ホウエエ
ホウフ
エヤヒ

むき
も
ま
で

まど ヤヒヤエ エウホフ

今様

妻の伊まひの

曝のよ四舟れ

山を遊を

花がさかろうも

白雲乃

なううけり

十日夷

今様 二上り

フホヤヤ ホホホフホ フホホフホ

ホーホホ ヤヤヤエウ ヤエホホ

ウホホホ ホホホホ

十日恵美須 三下り

アーフホ ウウホウ ヤエウホフ

ホホフヤ エウ ホホウエ

ヤエウホフ フヤイヤ フヤイヤ

フホホフ フフヤヤ エエウエ

たむねのーん

十日恵美須

賣物ハ

袋取并

残がまを

小判

立烏帽子

入弁

さん櫃

たむね

ホウーホウ ウウウウ

浅くとも

浅くとも 本を

浅くとも

清き

ウホフ ホホー フウフウ

なぐさ

かさば

ウウウウ エウウホフ ヤーホフ

飛

飛ぶ 往來

フフフ ヤーヤエ ウエエエ

濡つばめ

ウーウ エウエウ エエーエ

のそいて

網笠

エエウ エウホフ ヤフー

顔

見たふ

ヤエヤ ウホフ ヤイヤエ

先

のい

フフフ フーホフ ホフホフ

フフウエ 千ヤチホ ウーウウ

高ハム

高たかい山やま

谷やそこ

見みればばの

瓜うり

茄子かぶ此こゝ

野の予よ

ははああ

ととままくく

ととままくく

よよままよよ

宇治

宇治うぢわ

茶ちやどどろろ

茶ちやのの園えん

ととままくく

娘むすめややななやや

聾むこ

フフヤフヤエウエヤフ

フホフホフヤエウフフヤ

フホフホフヤエウフフヤ

フホフホフヤエウフフヤ

フホフホフヤエウフフヤ

フホフホフヤエウフフヤ

フホフホフヤエウフフヤ

フホフホフヤエウフフヤ

フホフホフヤエウフフヤ

宇治 本

ホホウキヤフホフヤホフーホ

ホホウキヤフホフヤホフーホ

ホホウキヤフホフヤホフーホ

ホホウキヤフホフヤホフーホ

ホホウキヤフホフヤホフーホ

ホホウキヤフホフヤホフーホ

ホホウキヤフホフヤホフーホ

々

ウエヤヤヤホウホフフホウホヤ

ホホウホウフーヤエフヤエ

權兵衛種蒔 二上リ

權兵衛が
種まき
權兵衛が
種蒔

フホフヤエエウエフホフヤ

鳥がほせ
さきや

エエウエフホフヤエエウエ

三度
一度は

フホフヤエエウエウエエ

なるま

フホホヤヤエフホフヤ

向ふの小山
小松乃

エエウエフホフヤエエウエ

木陰

十六島田が

フホフヤエエウエフホフヤ

出て来て

とまねく

エエウエフホフヤエエウエ

何うハ

扱置さくおを

行ゆむむが

成なるままん

ハ

世門よもん節ふし

前引まへひ

何所どこの

畑はたけよ

ちんちんとと鐵てつを

打うちちんんど

又またゆゆや

苦く勞らうれ

ささつつああら

ままののさ

種たねを

蒔まく

フホフヤエエウエウエあうむむばなるまいあんげんく

フウホホフヤエふうほほふやえ

世よのの節ふし

前引まへひ

ホホウホホウホホウほほうほほうほほう

ホホウホウホホホホホホほほうほほうほほほほほほ

フヤエウヤエウホフヤうちちんごまたゆやくくろ

フヤフヤフヤフヤフヤふめすうとらさのまたねを

フホフヤエエエヤエウホまほほふやく

ウウウエエエヤエウホうううえええやえうほ

ウホウウ

松ぼくし

諷し

まやせや

大國

一本目め

池乃松

三本目

庭乃

まの川

三本目

よき

下り松

四本

目め

滋賀乃

まの川

五本目

よき

五葉花

松盡し 二上り

エヤフ ホウヤエヤ

ヤエウホフ ホフ ホーホフ

ホホウ エウエホウホフ

エヤフ ホウヤエヤ

フヤエウ ホウ ホフホフ

ホホウ エウエホウホフ

エヤフ ホウヤエヤ

フヤエホフ ホフホフ ホホウ

エウエホウホフヤエヤフ

六ツ 昔は

高砂此 尾上乃松也

そでの 七本目に

姫小松 八本目に

讀經松

大津画節

ゴホイ

親父と此

其金

貸て

与一兵衛は

及馬号

ホウヤエヤフ エヤフヤ

ホウホウヤフホウホフヤエウ

ホウエウホウホフホーホフ

ホホウエウエホウホフヤ

エヤフホウヤエヤフヤ

大津画節 二上り

ホーホフホフヤエヤフヤ

フーホフエウホウホフヤ

ヤヤヤエヤヤホーヤヤ

フヤ フーフフホウ

イエ 金では

おほんせぬ 娘の

用意乃

握り飯

ドレ

お先

まーやう

ヤレ

おぢぶとい 親父めと

後離

何乃 苦

なまき

ト ぬぐう

ホウウ

ヤフ

ホー

ホーホヤ

フヤエ

ウホウ

フヤ

ホウホ

ヤフヤ

ウエ

ヤイヤ

ホエウ

ホフ

ホフホ

フ

ホホウエ

ヤヤウホ

ウーウ

ヤフ

フフフ

ウウウ

ホホホ

ホフ

ウホホ

ヤヤヤ

ヤヤヤ

ホーウ

ホウヤ

ホフホ

ウエウ

金と命の

息愛

別玉

夕ぐれ

眺め

見え

隅田川

月

風情を

まつち

帆あげ

舟が

見

ゆは

ホホウホヤ ウホウホヤ ホホウホフ

ホヤヤホホウホフ

夕暮 本てらう

エエウ エライヤ フヤイヤ

ヤエウヤ フヤイヤ フホフ

ヤイヤエ エイヤ フフウ

ヤヒヒヒ ヒヒヒ ヒヒヤヤ

エーウエ ウエヒー ヤイヤエ

ウエヤエ ウウ ウウフ

ウウフ ヤフ ウウウ

人

アレ

鳥トリ

啼ナガく

鳥トリに

なよ

都ミヤコに

名ナ所トコロ

の

有ア

ま

人

ウウウ

ウウウ

ウウウ

ホウエ

ウウホフ

ヤエウウ

ヤエエエ

ヤウウウ

ホフヤ

エヤフホ

ホーエフ

フヤ

フーホー

ウホフヤ

ヤエウ

ホウウエ

ヤエウウ

ホフ

ヤフホウ

エウホ

ホホヤフ

フウフフ

フエヤエ

フエー

ヤヤヤエ

ウウヤ

エウホ

フーホー

ヤホー

フーウホ

春雨

春雨はるのこしめ

人

志門

ほり

濡ぬり

鶯うぐいすれ

さめざよ

にやふ

梅うめが香かほ

の

人

花はなにたま

志門

小鳥こどりでさむ

一筋ひとすぢは

定めぬ

とて

春雨

二上り

ホウエウはるのこしめホウエウはるのこしめフーホウはるのこしめ

ヤフヤフはるのこしめホウホウはるのこしめエヤフはるのこしめ

ホウホウはるのこしめフーヤはるのこしめエエはるのこしめ

ホウホウはるのこしめウーホウはるのこしめウエエはるのこしめ

フーホウはるのこしめエウウはるのこしめホウホウはるのこしめ

エウホはるのこしめホフホウはるのこしめホウホウはるのこしめ

エウフホはるのこしめウホホはるのこしめホウホはるのこしめ

フウヤフはるのこしめホウホはるのこしめエヤフはるのこしめ

ホウホはるのこしめエヤフはるのこしめ

ホウホはるのこしめ

芦刈

芦刈 二上り

我わがはは六む

戀こひよのハ

くろん

孫まごととハ

戀こひハ

云い字じががハ

まよまよのの故ゆゑ

去いりいててハ

ウーウウ エヤエウ エーヤ

エヤ エヤ フヤ

ホウモウ 舌しほハヤ ウフヤ

エウホウ主 フーホウ ーウーホウ

白鷺しらさぎハ

止とどまませせハ

とままれれと

招まねハ

手て風かぜハ

ゆゆハ

すすままハ

ハ

エウホウー ヤウウエヤ

フフ エヤフヤ

ホフヤー エウホホ ウエウエ

ホフヤフホ フヤエエヤ エウ

ホーウエエウ エウホフー フホウホ

京四季

春の花

いざ見よ

ごんせ

東山

色香争ふ

夜

ごんせ

ん

うられ

粹

不粹も

二乃

うら

二本

く

も

京四季

本てじ

前引

ウホフホフヤフホウホウ

ホフ

フホウホ

エウウホフヤホ

ホフエウエ

ホホホホ

エホホホ

ヤエウヤエウウホフホ

ホウホウレウ

ホウホ

ヤイヤフ

エウホウ

ホウエ

ウウホフ

ヤイヤフ

ウウホフ

フフヤフ

フフヤフ

和ら

祇園 まきおん

豆腐乃 とうふ

二軒 ふたけん

茶屋 ちや

みそ みそ

夏 あつ

お連れて

川原 かわはら

集 あつ

夕涼み ゆふらしみ

よい

よい

真葛 まがわ

原 はら

ウホフヤ エヤフ ヤイヤイ

エエウホ フヤフホ ウエエ

ホホホ ヤイヤエ フウ

ウホホ ウレウ レウレウ

ウレウ ウレウ ホウエ

ホフイ ウホフ ヤーイ

ヤイヤ エエウウ ホホホ

ウエウ ホホイ ヤイヤ

ホウ ホフホ フヤイヤ

ホウホウ ホフフ ヤイヤ

そよくと

秋あきの色いろ

増まま

華はな頂いただき山さん

時とき雨あめを

傘かさと乃の

濡ぬ

紅葉もみぢ

長なが樂がく寺でら

思おも心こころひそ

ほろ

円まる山やま

の

はら
ホカヤエヤフヤイヤフ

そよそよと
エウホフホフヤヒヤヒ

の
エヒヒヒヒヤエヤウ

さ
ウエウエヤイヤエウエヤ

を
ヤエエエエアアエエエ

ら
ホウエエウウホフヤ

ぬれ
ホウホウホフヤエヤフホ

ちやう
ホホウエルホヤヤヒヒ

か
ヒヒヒヒエエヒヒヒ

つ
ヤヤエウヤヤエヤヤエウ

今朝も

素て

雪見酒かきこ見みる

樽さかづきははき

向むかひ

きいよん
しく

よいやさ

詠言

父母ちちは

恵めぐみ

ふ

か

ま

ウエウエうさルるホウウエゆさエみウぶ

ホフウホけウホフヤエヤエそいでぐらめさ

ウウホむかフヤイヤフウーエよいよ

ホホフよヤイヤエウいフ

ホウホよフフホフフヤイヤよフ

詠歌

ホウエちウホフちウは

エーヤはイのフーヤエめヤイヤ

ヤエウぐホみウキエもウーエう

千エちウう千ウホちーウちホち

粉こな

川がわ

寺てら

佛ぶつ乃の

誓ちか言ご

ひ

たの母はは

しき

みや

高砂

たの

さどや

此浦このうら船ふねに

帆ふしあげ

フウホウーエウーエあウーホ

ウエウエウーウーウーホほ

ウーエヤウー千ホホエの

ウホーエウホーウエーウエヤあ

ウーホフホーウホウーエヤあ

千ウホーホフヤフホーウあ

千ーウーホウエホウーあ

高砂 三下り

高砂たかすなフひホホホこのうら

ホホーホホウホウヤフあ

月諸共つきもろとも

いで

いふれ

入

浪なみ

れ

淡路あまぢ

や

まよ

うげ

御所車

香かう

送まよふ

梅むめ

軒端のきば

にほひにほひどろ

花はなよ

まよつまきまもや

まよつまきまもや

まよつまきまもや

フとフおホ

ホいウでホいウで

ホいフいフいフい

ウいホいホいヤ

イいヤいフい

ホいフいホいフい

フいフい

フいマいフいマい

マいフいマいフい

ホいホいウい

ウいホいウいホい

フいフいフいフい

エいヤいヤいヤ

御所車

ニ上リ

まいまいまいまい

まいまいまいまい

まいまいまいまい

まいまいまいまい

まいホいフい

フいヤいフいエい

ウいホいフいヤ

ホいウいホいマい

エいヤいエいヤ

仰々

まのせの

明あや

嬉うれし紀

けそ

ふそ

ひぐく 初音はつね

耻敷はづ

まぶ とけ

兼あ

薄氷うすこ

万歳

とくわ

御代ごよ

栄さかへ

ま ば

愛敬あい

ホフヤ

ホウラホ

三

エヤホフヤフヤ

エヤエヤ

変へキミ

ホフホフ

ヤエエ

ホウホウ

エキキ

ウウウ

萬歳

ニ上リ

ヤフヤ

エウホウ

エヤフ

ヤエヤウ

ホフホウ

エヤウヤ

フフヤフ

フヤフヤ

版權所有

明治廿六年五月十五日印刷
全 年六月二日發行

定價金八錢

京都市下京區大黒町通松原下ル山城町十四番戸
編輯兼 上田 拾吉
發行者

京都市下京區三條通富小路東入中之町廿三番戸
印刷兼 須磨 勘兵衛
發賣者

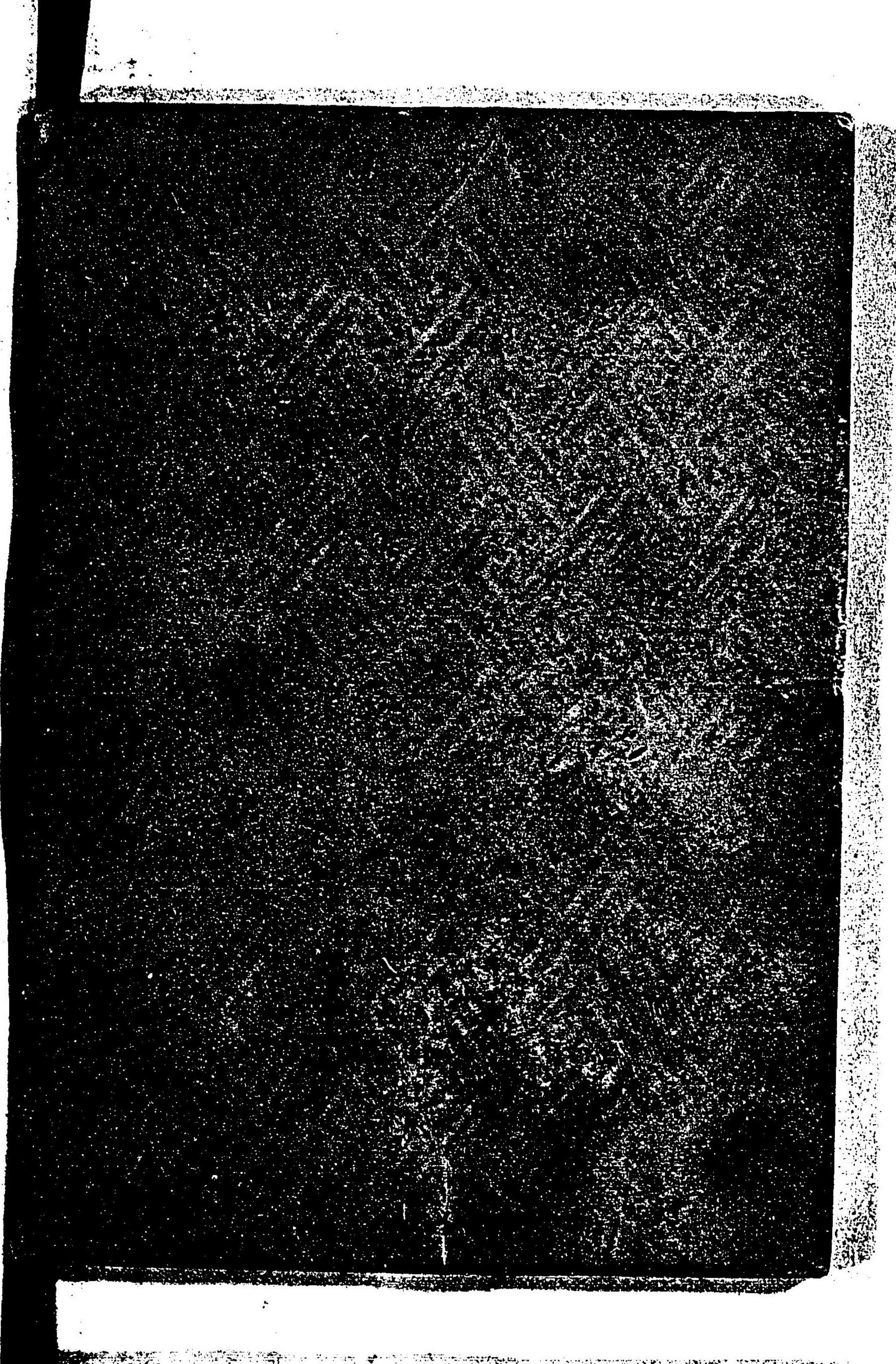
片假名綴
イウホホヤ

月出度
そふらふ

ウホウウ エウホホフフヤ

新玉の
年
あーとよう
水も若
水の葉も
葉のへ
誠よ

あふたまの今
エヤヤホ エヤウ フフヤ
ちうちうちう ちうた より
ホホウ エウエウヤ ホウホヤ
みかちも ちうちうちう ちうちうちう
エヤウ フフヤ フフヤ
さうへ さうへ ちうちう
フフヤ エウエウヤ エウ
まことよ めでとちう そふ
エヤフホ フヤエヤ エウホ
エヤフホ フヤエヤ エウホ



特60

630

074492-000-0

特60-630

尺八独稽古

上田拾吉

M26

CEI-1808

